

(公開研究会) 大学と学校の連携に関する総合的研究

女性のライフデザイン教育における高大連携の可能性

- 品川女子学院 28 プロジェクト、松蔭高校チャレンジプログラムを事例として -

【主催】早稲田大学教育総合研究所、【協力】早稲田大学教務課、教育システム課

【日時】2009年8月4日(火) 10:30 16:00 (来聴歓迎 メールでご確認下さい)

【場所】早稲田大学、早稲田キャンパス 14号館 503教室(マルチメディア教室)

【参加費】無料、昼食代 1000円、懇親会 1500円程度(来聴歓迎 - メールでご確認下さい)

【目的】近年、高大連携は高校、大学双方の教育を考えるキーワードとなっている。教育は学校卒業後のよりよい生活のためのものであるが、現実には、受験準備の負荷もあって、多くの学校で進路指導は受験準備と同義に扱われている。一方で、若者の就労に関する問題状況が指摘され、勤労観を含む職業選択のためのキャリア教育が提唱されている。この問題は、高校、大学が単独で解決出来る問題ではなく、高大連携の課題そのものであると考える。そこで、今回は、高校のライフデザイン教育の代表的事例である品川女子学院の28プロジェクト、松蔭高校のチャレンジプログラムについて、その概要と意味を確認したい。その上で、女性のライフデザイン教育を中心に高大連携教育の可能性を検討するため、高校、大学、企業関係者それぞれの立場からの意見交換と課題確認を行いたい。

【進行】

午前 **事例報告と質疑 - 女子生徒のライフデザイン教育の現状と可能性**

10:30 - 12:30 神戸松蔭高校のチャレンジプログラム(谷口 理 進路指導部長)
品川女子学院の28プラン(漆 紫穂子 校長)

(昼食)

午後 **コメンテーターから - 高校のライフデザイン教育の試みをどう捉えるか**

13:20 - 13:40 松蔭高校の実践の可能性(NPO関係者)
13:40 - 14:00 品川女子学院の実践の意味(企業関係者)
14:00 - 14:15 早稲田大学女子学生の就職支援の立場から(早大キャリアセンター課長)
14:15 - 14:30 「私の未来日記」の視点から(新井浩子 - 早大文学部)
14:30 - 14:45 高大連携と社会体験の意味(環境庁関係者 - 予定)
14:50 - 16:00 総括討論 - 女性のライフデザイン教育の課題と高大連携の可能性
終了後 16:30 18:00 教職員食堂「楠亭」で懇親会

【問い合わせ】

〒169 8050

新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学 教育学部

矢口徹也研究室 E-mail: tetsu238@waseda.jp
